

計画したツアーの内容を発表する児童



22日付中国新聞SELECT(セレクト)「ひと・まち・フォト」でも紹介します。

外国人観光プラン考えた

県立広島大で親子経営学教室

外国人をもてなす観光プランを親子で考え、経営学に触れる教室が19日、広島市南区の県立広島大広島キャンパスであった。中国地方で唯一、経営学修士(MBA)を取得できる同大大学院経営管理研究科が初めて企画した。

広島、山口県内の約60人が参加。6班に分かれ、大学院の社会人学生の助言を受けながら、「広島に来たメ

キシコ人の親子3人が楽しめるツアー」を考え、予算内で利益が出るように、路面電車を活用するなど工夫しながら、お好み焼き作りやサッカー観戦ができるプランを発表した。

南区の宇品小3年奥本帆香さん(8)は「使える金額が決まっていたけど、いいアイデアが出せたと満足そうだった。」
(村上和生)